

科目名	異文化ゼミナール	科目コード	1152	単位数	2
担当者名	柳川 博	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次

●授業のねらい

- 次の2点を授業のねらいとする。
 - 豊かな人間形成における幅広い教養とコミュニケーション能力を身につける。
 - 修得した知識および技能により、自ら課題を発見し解決する能力を身につける。

●到達目標

- 次の3点を到達目標とする。
 - 自主的に選択し、決定する。（例：図書の選択、課題の設定）
 - 自主的に学習研究環境を整備する。（例：大学設備の有効な利用方法）
 - 学習の成果を自身の言葉で表現する能力を身につける。

●授業内容

- 1週目 ガイダンス（大学施設の有効利用法・2年次以降の学修計画について）
- 2週目 教養への誘い （自由と平等）
- 3週目 教養への誘い （近代日本と現在）
- 4週目 教養への誘い （多文化世界）
- 5週目 人間の記録 （「自伝」の面白さ）
- 6週目 人間の記録 （科学者という仕事）
- 7週目 人間の記録 （「生と死」の記録）
- 8週目 パラダイムを超えて （知の誕生）
- 9週目 パラダイムを超えて （パラダイムシフト）
- 10週目 戦争と平和への希望 （「戦後」を考える）
- 11週目 戦争と平和への希望 （ヒロシマ、ナガサキ、そしてフクシマ）
- 12週目 戦争と平和への希望 （「平和」はいかにして達成されるか）
- 13週目 現代の重要問題 （グローバリズムとナショナリズム）
- 14週目 現代の重要問題 （多極化する世界）
- 15週目 現代の重要問題 （「日本」という課題）
- 16週目 総合討論

●準備学習(予習・復習)等の内容

- 下記の『参考書』を手がかりとして、自身で選択した図書を完読することが最も大事な予習である。読了後の「書評」をゼミナールで報告し、グループディスカッションを通して課題を発見し、関連する図書や資料を探索し、さらに読書や研究の幅を広げていくことが復習である。関連情報はCoursePowerにもその都度掲載するので確認すること。上記の予習・復習には、それぞれ2時間以上必要である。

●成績評価の方法・基準

- 報告する図書やテーマを選定するプロセスやプレゼンテーションの内容を60％、ディベートやグループディスカッションへのコミットメントを20％、報告と討論に対する「自己点検」を20％として評価する。なお、報告と討論の自己点検についてはCoursePowerue上の「自己点検シート」に研究成果、問題解決の経過、全体の反省点等を複数回記録すること。

●履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

- 毎時間、必ず出席することはもとより、他の学生の報告を真剣に聞き、自身の意見を表明し、ディベートする場を数多く作ること。ゼミの時間以外にも関連する学習や議論の場を自主的に作ること。「オフィスアワー」を利用して考えをまとめてみよう。

●テキスト

- 特になし。下記の参考書や「推薦図書リスト」などを手掛かりとして報告する図書を自身で選択すること。

●参考書

- 広島大学101冊の本委員会編『大学新入生に薦める101冊の本』（岩波書店）
- 岩波文庫編集部『岩波文庫解説総目録』（岩波書店）
- 高橋源一郎編『読んじゃいなよ！—明治学院大学国際学部高橋源一郎ゼミで岩波新書を読む』（岩波新書）
- 斉藤美奈子『文庫解説ワンダーランド』（岩波新書）

●更新日付

- 2019/01/31 03:07